



ベストアドバイスクラブニュース

ご訪問いただきありがとうございます。
このコーナーには、皆様にお伝えしたい情報を
掲載しております。
是非最後までご覧ください。

代表取締役 井上 隆



がん治療の今

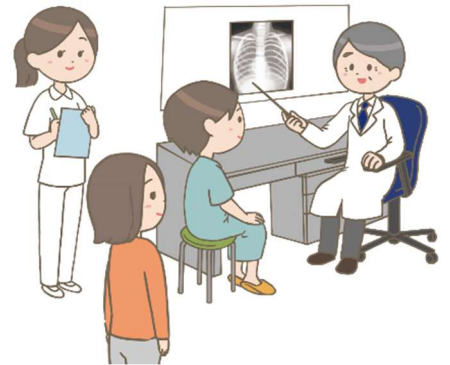
弊社は、厚生労働省が推進する「がん対策推進企業アクション」をサポートし、「がんセミナー」の開催や日頃の営業活動の中でがんの情報を皆様にお伝えしています。

今回は<<がん治療の今>>についてお伝えします。

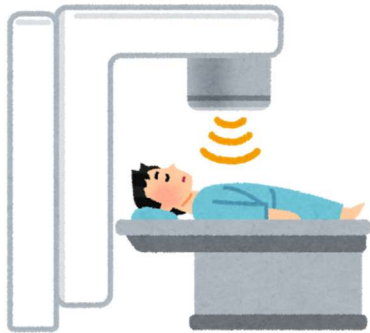
*がん治療の現状（SOMPO ひまわり生命「がんにそなえる BOOK」より抜粋）

【手術療法】

がんの病巣やその周辺組織を切除する治療法です。
手術方法も増えており、切除する範囲を最小限にとどめる縮小手術や内視鏡を使った腹腔鏡手術、医師が手術支援ロボットを遠隔操作して行うロボット手術などが普及しています。
がんのかたまりが一気に切除でき、完治の可能性が高いことがメリットとなりますが、傷の治癒や全身の回復に時間がかかったり、切除した部位によっては臓器や体の機能を失うことがあります。



【放射線療法】

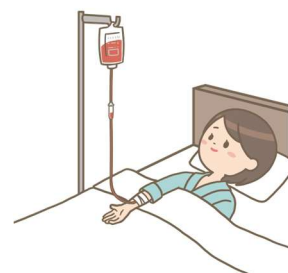


がん細胞を根絶したり、骨転移などによる痛みなどの症状を緩和するために放射線を照射する治療法です。体の外から放射線をあてる外部照射の他に、放射性物質を体内に挿入する方法や、飲み薬や注射で投与する内部照射もあります。

放射線治療の中でも「粒子線治療」には重粒子線と陽子線があります。従来の高エネルギーX線を使った光子線治療にくらべて、その影響力のピークをがんの位置に合わせることができるため、効果的な照射が可能です。がんの種類によっては先進医療として行われている場合もあり、経済的な負担が生じることがあります。

【薬物療法】

主に抗がん剤の投与（注射・点滴・飲み薬など）によって、体内のがん細胞を死滅させたり増殖を抑えたりする治療法です。薬物療法には、抗がん剤を使用する治療法のほか、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬、ホルモン療法薬を使用する治療法などがあります。日本で未承認の治療薬などもあり、経済的な負担が生じることがあります。



【緩和ケア】



患者や家族の体や心の辛さを和らげ、豊かな人生を送れるように支えていく方法です。痛みや吐き気、食欲不振などの症状の緩和に限らず、気分の落ち込みや孤独感などの心の辛さの緩和にも幅広く対応します。緩和ケアを早期から取り入れることが推奨されています。

がんの治療も、日々進化しています。「がん保険」も治療方法に合わせて進化しています。定期的な保険の確認をお勧めします。（井上）

生命保険の“付帯サービス”に注目！



日本人にとって、馴染み深い「生命保険」という商品。

一体どれ位の人がどのような目的をもって保険に加入している

のか、そうした実態を調査するために生命保険文化センターが

3年ごとに行っているのが「**生命保険に関する全国実態調査**」です。

直近の調査結果（2024 年度）によりますと、死亡保険、医療保険、個人年金保

険など、何らかの生命保険に加入している世帯の割合は 89. 2 %でした。約 9 割

の世帯が生命保険に加入しているというこのデータは、日本が「世界一保険好き

な国」であることを示しています。裏を返せばこのデータが示すのは、生命保険

業界は既に飽和状態で、成熟市場となっているということです。



各保険会社は、保障内容以外で差別化を図るため、

保険契約者様向けに「健康や医療、介護関係、そ

の他生活関係」を中心とした＜＜付帯サービス＞＞

を導入しています。

保険会社や契約している商品によっても異なりますが、例を挙げますと、

セカンドオピニオンサービスや**がんリスク検査サービス**、**メンタルヘルスサポ**

ートといったサービスがあります。ご加入時のパンフレット等に付帯サービスの

記載がされていることが多いので、契約されている保険や、新しく契約をお考

えの方は是非付帯サービスを確認してみてください。（高辻）